

## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社global bridge HOLDINGS 上場取引所 東  
 コード番号 6557 URL <https://globalbridge-hd.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 貞松 成  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 戸田 貴夫 TEL 03-6284-1607  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,030	37.7	△1,273	—	167	—	87	—
2019年12月期第3四半期	4,378	—	△556	—	△84	—	△164	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 90百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 △164百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	33.62	31.98
2019年12月期第3四半期	△69.28	—

(注1) 当社は、2018年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(注2) 2019年12月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	9,801	1,343	13.3
2019年12月期	7,777	961	11.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 1,299百万円 2019年12月期 906百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,184	38.4	△1,363	—	246	—	155	—	59.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2020年8月6日に「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表いたしましたのでご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）－、除外 1社（社名）株式会社東京ライフケア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	2,661,335株	2019年12月期	2,470,300株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	－株	2019年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	2,608,920株	2019年12月期3Q	2,377,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策を背景に緩やかな基調で推移していたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、国内外の経済活動に及ぼす影響が深刻化しております。また、少子高齢化社会に対応するため政府が中心となり、様々な施策が取り込まれており、こうした取り組みの結果、待機児童数は減少に転じているものの、保育に関するニーズは当面は底堅いと思われれます。

新型コロナウイルス感染症対策として、お預かりするお子様・保護者の皆様・従業員の安全確保を最優先に考え、各施設に①換気の悪い密室空間②多くの人が密集する場所③近距離での密接した会話を避けるよう通達を出し、手洗いやうがいの徹底など予防に努めると共に、本社においては、在宅勤務や時差出勤等の対応を実施してまいりました。

こうした状況において、当社グループは少子高齢化社会への取り組みに貢献すべく、保育事業における新規施設の開設とICTの活用による保育事業の効率化支援の拡大に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における新規施設の内訳と運営施設数は以下のとおりです。

#### ・保育事業の新規開設施設（認可保育園等）

施設名称	住所	入所定員 (名)	開園日
あい・あい保育園 西小岩園	東京都江戸川区	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 西荻窪園	東京都杉並区	94	2020年4月1日
あい・あい保育園 三番町園	東京都千代田区	50	2020年4月1日
あい・あい保育園 北綾瀬園	東京都足立区	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 中野坂上園	東京都中野区	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 印西牧の原園	千葉県印西市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 久住園	千葉県成田市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 西三里塚園	千葉県成田市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 浦安北栄園	千葉県浦安市	80	2020年4月1日
あい・あい保育園 君津園	千葉県君津市	70	2020年4月1日
あい・あい保育園 流山おおたかの森園	千葉県流山市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 妙典一丁目園	千葉県市川市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 妙典五丁目園	千葉県市川市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 妙典六丁目園	千葉県市川市	60	2020年4月1日
あい・あい保育園 鷺洲園	大阪府大阪市	80	2020年4月1日
あい・あい保育園 鳴野駅前園	大阪府大阪市	80	2020年4月1日
16施設 合計		1,054	

#### ・介護事業の新規開設施設

施設名称	住所	入所定員 (名)	開園日
にじ 八千代緑が丘	千葉県八千代市	10	2020年4月1日

これらの結果、当社グループが運営する施設数は下記のとおりとなりました。

[保育施設数の推移]

(単位：施設)

	2016年 12月期末	2017年 12月期末	2018年 12月期末	2019年 12月期末	2020年 9月30日現在
認可保育園	13	23	34	48	64
小規模保育施設	7	7	8	8	8
その他(受託・認可外)	4	1	1	—	—
合計	24	31	43	56	72

[介護施設数の推移]

(単位：施設)

	2016年 12月期末	2017年 12月期末	2018年 12月期末	2019年 12月期末	2020年 9月30日現在
放課後等デイサービス	6	7	10	9	7
生活介護施設	1	2	1	1	1
サービス付き高齢者向け住宅	—	—	1	1	1
住宅型有料老人ホーム	—	—	1	1	1
その他(児童発達支援等)	3	4	2	2	2
合計	10	13	15	14	12

また、以下の施設は予定通り開設が行われております。

(2020年12月期 開設予定(保育事業))

地域及び施設数	種類	入所定員 (名)	開園予定
東京都 1施設	認可保育園	60	2020年10月1日
1施設 合計		60	

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,030,009千円(前年同期比37.7%増)、営業損失は1,273,731千円(前年同期は営業損失556,485千円)、経常利益は167,523千円(前年同期は経常損失84,248千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は87,707千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失164,669千円)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

保育事業・介護事業ともに新型コロナウイルスの影響を受け、感染予防及び拡大防止対策に取り組みながらサービス提供を行いました結果、以下のとおりとなりました。

(保育事業)

売上高は5,398,803千円(前年同期比46.5%増)、セグメント損失は251,453千円(前年同期はセグメント利益108,882千円)となりました。

(介護事業)

売上高は506,727千円(前年同期比8.3%減)、セグメント損失は52,738千円(前年同期はセグメント利益10,643千円)となりました。

(ICT事業)

売上高は164,687千円(前年同期比48.1%増)、セグメント利益は25,524千円(前年同期はセグメント損失9,547千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、次のとおりです。

(資産の部)

総資産は9,801,910千円(前連結会計年度末比2,024,605千円増)となりました。

流動資産につきましては1,709,232千円(同112,587千円減)となりました。これは主に、現金及び預金の減少449,102千円等によるものです。

固定資産につきましては8,085,542千円(同2,139,796千円増)となりました。これは主に、認可保育園等の新規開設による有形固定資産の増加1,469,166千円及び投資有価証券の増加603,312千円等によるものです。

(負債の部)

負債は8,458,759千円(同1,643,029千円増)となりました。

流動負債につきましては1,886,007千円(同222,417千円増)となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加275,430千円、賞与引当金の計上額97,880千円等によるものです。

固定負債につきましては6,572,751千円(同1,420,611千円増)となりました。これは主に、新規の認可保育園等の設備投資資金を借り入れにより調達したことによる長期借入金の増加1,271,331千円、繰延税金負債の増加63,934千円等によるものです。

(純資産の部)

純資産につきましては1,343,151千円(同381,576千円増)となりました。これは主に、第三者割当増資に伴う払込みや新株予約権行使に伴う払込みによる資本金及び資本剰余金の増加303,189千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加87,707千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月6日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当社では、新型コロナウイルスの感染症の影響は、2020年12月期期末までは、当社グループの売上高及び施設運営に影響を及ぼすという想定で、2020年12月期連結業績予想を作成しております。

今後、更なる感染拡大や経済活動への深刻な影響が発生し、業績予想の修正が必要となった場合、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,167,556	718,454
売掛金	333,482	713,267
未収入金	58,746	6,558
その他	262,302	271,220
貸倒引当金	△268	△268
流動資産合計	1,821,819	1,709,232
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,062,298	5,911,746
減価償却累計額	△489,741	△719,007
建物及び構築物（純額）	3,572,557	5,192,739
機械及び装置	175,990	266,213
減価償却累計額	△34,971	△55,985
機械及び装置（純額）	141,018	210,228
車両運搬具	49,485	42,005
減価償却累計額	△43,946	△40,002
車両運搬具（純額）	5,539	2,002
建設仮勘定	647,459	184,033
土地	120,198	120,198
その他	279,282	570,174
減価償却累計額	△51,832	△95,986
その他（純額）	227,449	474,187
有形固定資産合計	4,714,223	6,183,389
無形固定資産		
のれん	403,427	362,174
その他	143,592	163,082
無形固定資産合計	547,020	525,256
投資その他の資産		
投資有価証券	11,000	614,312
長期貸付金	136,706	130,456
敷金及び保証金	359,539	483,849
その他	177,256	148,277
投資その他の資産合計	684,503	1,376,896
固定資産合計	5,945,746	8,085,542
繰延資産		
株式交付費	9,738	7,135
繰延資産合計	9,738	7,135
資産合計	7,777,305	9,801,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	91,666	74,333
1年内返済予定の長期借入金	569,818	845,248
未払法人税等	45,101	8,387
未払費用	358,364	466,763
賞与引当金	—	97,880
その他	598,638	393,394
流動負債合計	1,663,589	1,886,007
固定負債		
長期借入金	4,693,994	5,965,325
繰延税金負債	81,667	145,602
預り保証金	14,282	12,681
退職給付に係る負債	32,352	41,754
資産除去債務	328,636	406,940
その他	1,207	447
固定負債合計	5,152,140	6,572,751
負債合計	6,815,730	8,458,759
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	176,526	329,007
資本剰余金	695,446	846,154
利益剰余金	41,231	128,938
株主資本合計	913,204	1,304,100
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△7,051	△4,158
その他の包括利益累計額合計	△7,051	△4,158
新株予約権	55,422	43,209
純資産合計	961,575	1,343,151
負債純資産合計	7,777,305	9,801,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,378,019	6,030,009
売上原価	3,998,443	6,011,786
売上総利益	379,576	18,222
販売費及び一般管理費	936,061	1,291,954
営業損失(△)	△556,485	△1,273,731
営業外収益		
受取利息	504	490
補助金収入	571,318	1,546,739
その他	9,651	12,419
営業外収益合計	581,474	1,559,649
営業外費用		
支払利息	30,202	42,669
支払手数料	78,401	72,734
その他	633	2,990
営業外費用合計	109,237	118,394
経常利益又は経常損失(△)	△84,248	167,523
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	1,160
その他	—	1
特別利益合計	—	1,161
特別損失		
固定資産売却損	—	879
固定資産除却損	751	430
特別損失合計	751	1,310
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85,000	167,374
法人税、住民税及び事業税	79,669	21,698
法人税等調整額	—	57,969
法人税等合計	79,669	79,667
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△164,669	87,707
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△164,669	87,707

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△164,669	87,707
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	—	2,893
その他の包括利益合計	—	2,893
四半期包括利益	△164,669	90,600
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△164,669	90,600

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社東京ライフケアは当社の連結子会社である株式会社global bridgeを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

なお、存続会社の株式会社global bridgeは、株式会社global child careに社名変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、第三者割当増資による払込み及び新株予約権の行使に関する払込み等を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が152,481千円、資本剰余金が150,708千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が329,007千円、資本剰余金が846,154千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて算定する方法で計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間からの連結納税制度適用を契機に、四半期連結累計期間の課税所得に対応した税金費用をより合理的かつ適切に算定するため、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	保育事業	介護事業	ICT事業	計				
売上高								
外部顧客へ の売上高	3,684,533	552,891	72,481	4,309,906	68,113	4,378,019	-	4,378,019
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	-	-	38,743	38,743	-	38,743	△38,743	-
計	3,684,533	552,891	111,225	4,348,649	68,113	4,416,763	△38,743	4,378,019
セグメント利 益又は損失 (△)	108,882	10,643	△9,547	109,977	38,431	148,409	△704,895	△556,485

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産転貸借事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△704,895千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用等です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	保育事業	介護事業	I C T事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,398,803	506,727	92,860	5,998,391	31,617	6,030,009	-	6,030,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	71,827	71,827	8,158	79,986	△79,986	-
計	5,398,803	506,727	164,687	6,070,219	39,776	6,109,995	△79,986	6,030,009
セグメント利益又は損失(△)	△251,453	△52,738	25,524	△278,667	△7,710	△286,377	△987,353	△1,273,731

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産転貸借事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△987,353千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用等です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。